

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日:2019年2月22日

責任者	人間福祉研究科委員長	作成部局	人間福祉研究科
-----	------------	------	---------

A-1	人間福祉研究科の理念		変更の有無
	<p>関西学院の建学の精神であるキリスト教主義教育とスクールモットーである「Mastery for Service(奉仕のための練達)」を基本にして、急速なグローバル化と少子高齢社会等の下で変化する価値観の中で、多様化する社会的、心理的、あるいは政治的、経済的問題に対する精緻な分析能力を保持し、社会福祉学を基本にした学際的なアプローチで、問題解決に向けた高い実践能力や実証研究能力を涵養する。これにより、従来の社会福祉学分野にとどまらず、隣接した領域においても指導的役割を担える人材養成や研究者の育成を果たす。</p>		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。
A-2	人間福祉研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)	人間福祉研究科の目的(Webサイト上)	変更の有無
	<p>前期課程では、人間福祉の諸分野を学び、高い学識と高度な専門的な知識を持ち、リサーチ能力、分析能力、政策立案能力を涵養し、社会の様々な場においてその専門性を発揮し、社会に貢献できる人材の育成を目的とする。同時に、後期課程に進学していくための研究指導と教育も行う。</p> <p>後期課程では、人間福祉の領域における高度な研究能力を涵養し、学問研究の継承と独創的な研究により博士学位を取得できる人材の育成を目的とする。</p>	<p>前期課程では人間福祉の諸分野を学び、高い学識と高度な専門的知識を持ち、リサーチ能力、分析能力、政策立案能力を保持し、社会の様々な場においてその専門性を発揮し、社会に貢献できる人材の育成を重視していく。同時に、後期課程に進学するための研究指導と教育を行う。</p> <p>後期課程では、人間福祉領域における高度な研究能力を涵養し、学問研究の継承と独創的な研究による博士学位取得のための教育を行う。</p>	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。
	めざす学生像		変更の有無
	<p>多様化する社会的、心理的、政治的、経済的問題に対して、社会福祉学を基本にした学際的な視点よりリサーチを行い、精緻な分析によって問題解決に取り組むための高い実践能力や実証研究能力を持つ学生の育成を目指す。</p> <p>前期課程では、専門領域の高度な知識のみならず、人間福祉の諸領域におけるリサーチ方法・分析能力・政策立案能力及び専門的な技法の修得によって、福祉の現場や行政、教育分野等従来の社会福祉学分野に留まらず多様な分野で活動できる人材の育成を目指す。</p> <p>後期課程では、高い水準のリサーチから得た独自のデータを活用し、専門領域に新たな独創的な知見を生み出すことによって社会に貢献できる高い研究能力とともに、教育・研究者としての指導能力をも有する人材の育成を目指す。</p>		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。
	学位授与方針(ディプロマ・ポリシー;DP)		変更の有無
	<p>[前期課程]</p> <p>修士(人間福祉)の学位は、以下の修了要件を満たす者に与えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人間福祉研究科博士課程前期課程に所定の年限在学し、所定の単位を修得し、修士論文の審査に合格した者。 人間福祉研究の基礎となる思想・理論・歴史、及びその応用と発展につながる社会科学と人間科学の関連領域を学び、福祉の現場、行政、教育分野等において広く福祉社会の維持・発展に貢献できる高度な専門知識、及び実践的な技法を有すると認められる者。 <p>[後期課程]</p> <p>博士(人間福祉)の学位は、以下の修了要件を満たす者に与えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 人間福祉研究科博士課程に所定の年限在学し、所定の単位を修得し、博士論文の審査に合格した者。 人間福祉の専門領域において、自立した研究者として高い水準のリサーチから得た独自データを活用できる高度な研究能力、及び専門領域に新たな理論的枠組みを提供する独創的な知見を有すると認められる者。 		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。

2018年度 自己点検・評価【人間福祉研究科】

A票

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日:2019年2月22日

責任者	人間福祉研究科委員長	作成部局	人間福祉研究科
-----	------------	------	---------

A-1.「理念」、A-2.「目的」「めざす学生像」「学位授与方針」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	「人間福祉研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」は、「A-1. 人間福祉研究科の理念」に沿い、めざす方向性を適切に表現しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	「人間福祉研究科の目的(Webサイト上)」は、A-2「人間福祉研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」に沿った内容であり、社会に対して分かりやすい表現になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	「めざす学生像」と「学位授与方針」は、A-2「人間福祉研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」、「人間福祉研究科の目的(Web サイト上)」と整合性が取れ、目的の実現に向けて相応しい内容となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学位授与方針は、学位授与にあたり、学位授与基準および当該学位に相応しい学習成果を明確に示しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認5】	学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認6】	目的、「めざす学生像」、「学位授与方針」は周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(だれが)	人間福祉研究科委員会(議長:人間福祉研究科委員長)
	検証手続き(どこで)	人間福祉研究科委員会において、研究科委員会構成員により共有・確認を行う。
	決定・判断時期(いつ)	毎年4月
	検証エビデンス	人間福祉研究科委員会記録
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2018年7月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)	
検証プロセス	検証方法(どのように)	大学院諸問題検討委員会及び研究科委員会にて検証・確認
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。
	判断根拠	人間福祉研究科委員会記録、同後期課程指導教員委員会記録、人間福祉学部教授会記録
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
 ～検証状況の確認～

提出日:2019年2月22日

責任者	人間福祉研究科委員長	作成部局	人間福祉研究科
-----	------------	------	---------

A-3

教育研究目標		変更の有無
目標1	(タイトル) 「人間福祉」研究に関わる諸分野で修得した理論・思想・歴史等の知識や価値、並びに学問的手法及び実践的手法を用いて行った研究内容・成果を広く社会に発信し、その専門性を通じて社会に貢献し得る人材を育成する。 (狙い・内容) 【前期課程】「人間福祉」という学際的領域において、学修した専門的知識と研究内容・成果を社会に還元することで人類の福祉の向上に貢献し得る人材を輩出するとともに、将来博士課程後期課程に進学し、「人間福祉」の学問領域の深化とそれに関わる教育・研究者として社会で活躍する人材を養成する。「人間福祉」という学問領域を浸透・発展させることを通じて、日本社会・国際社会における広い意味での「人間の福祉」の向上に寄与する。	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。
目標2	(タイトル) 「人間福祉」という従来の学問区分を超えた新しい学問領域を深化させ、この領域で日本・世界を牽引する教育・研究者を輩出する。 (狙い・内容) 【後期課程】「人間福祉」は対象となる事象を広く人間と環境とすることから、学際的であり多様な展開が可能な分野ではあるが、学問領域としては発展段階であり、社会での認知度も十分であるとは言いがたい。本研究科で、先行研究を十分に踏まえつつも独創的かつ高度な研究成果をあげる優れた研究者の輩出を生み出すことにより、「人間福祉」を定義し、学問分野として成長・発展させる。これにより、社会に「人間福祉」の概念の成熟を促すとともに、社会全体の福祉の向上に寄与する。	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。

A-3.「教育研究目標」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	「教育研究目標」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	「教育研究目標」は、教育の質向上に向けた意欲的な内容になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	「教育研究目標」は、周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(だれが)	人間福祉研究科委員会(議長:人間福祉研究科委員長)
	検証手続き(どこで)	研究科委員会において、研究科委員会構成員により確認・共有を行う。
	決定・判断時期(いつ)	毎年6月
	検証エビデンス	人間福祉研究科委員会記録
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2018年7月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)	
検証プロセス	検証方法(どのように)	大学院諸問題検討委員会及び研究科委員会にて検証・確認
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-left: 100px;"> <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/>既に見直した(→A票変更点記述シートを作成した。) </div> <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/>今後見直す予定である。 (見直し計画:) </div> <div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/>その他 () </div> </div>
	判断根拠	人間福祉研究科委員会記録、同後期課程指導教員委員会記録、人間福祉学部教授会記録
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
 ～検証状況の確認～

提出日:2019年2月22日

責任者	人間福祉研究科委員長	作成部局	人間福祉研究科
-----	------------	------	---------

A-4	教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー;CP)	変更の有無
	<p>[前期課程] 前期課程では、研究者育成を目的としたカリキュラムだけでなく、福祉社会の維持・発展に貢献できる人材育成を前提とした多様なカリキュラムを整備しています。「人と社会(環境)の交互作用」の科目では社会福祉の様々な分野について、「社会系」の科目では福祉社会を支える国家や社会の構造について学びます。そして「人間系」科目では、人の心と身体にかかわる問題を学びます。これらの科目以外にも、英語文献の講読科目やフィールドワーク科目を開講しており、狭い専門領域にとらわれることなく幅広く学べるように科目を配置しています。これらの科目を修得することで高度な知識と専門的技法を身に付け、その成果を修士論文としてまとめることができるように論文指導を行います。</p> <p>[後期課程] 後期課程では、在籍者が研究テーマに即して指導教授を選び、その指導の下で博士論文の作成に取り組めるようにカリキュラムを整備しています。国内外の文献研究や質的・量的なリサーチの実施といったことで研究を深めるだけでなく、学会での報告や研究論文の学術雑誌への投稿・掲載で成果を社会に問うことも求めます。そして、これらの成果をまとめて博士論文を完成できるように論文指導を行います。また博士学位キャンディデート制を設けており、1年以内に博士論文を提出できると研究科から認められた者をキャンディデートとして承認します。</p>	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。

A-4. 教育課程の編成・実施方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	教育課程の編成・実施方針は、A-2「めざす学生像」、「学位授与方針」、A-5「学生の受け入れ方針」と整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	教育課程の編成・実施方針は、A-3「教育研究目標」の達成に向けて相応しい内容となっているか、表現は適切か。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	教育課程の編成・実施方針は、教育課程の編成や、教育内容、教育方法等に関する考え方を明確に示しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学位授与方針の内容を実現するために、教育課程の編成・実施方針は適切な内容となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認5】	教育課程の編成・実施方針は周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(だれが) 人間福祉研究科委員会(議長:人間福祉研究科委員長) 検証手続き(どこで) 研究科委員会において研究科委員会構成員により共有・確認を行う。 決定・判断時期(いつ) 毎年4月 検証エビデンス 人間福祉研究科委員会記録	
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2018年7月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)	
検証プロセス	検証方法(どのように) 大学院諸問題検討委員会及び研究科委員会にて検証・確認 検証結果 <input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <input type="checkbox"/>既に見直した(→A票変更点記述シートを作成した。) <input type="checkbox"/>今後見直す予定である。(見直し計画:) <input type="checkbox"/>その他() </div> 判断根拠 人間福祉研究科委員会記録、同後期課程指導教員委員会記録、人間福祉学部教授会記録	
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日:2019年2月22日

責任者	人間福祉研究科委員長	作成部局	人間福祉研究科
-----	------------	------	---------

A-5	学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー;AP)	変更の有無
<p>博士課程前期課程 前期課程においては、人間福祉の諸分野に高い関心を持ち、社会のさまざまな場においてその専門性を発揮し、社会に貢献する意欲のある者を受け入れています。また、広く社会から人材を集めつつ、国際的な研究活動に取り組むために、社会人および留学生の受け入れを積極的に図っています。</p> <p>博士課程後期課程 後期課程においては、人間福祉領域における高度な研究能力を身につけ、優れた研究を行うことのできる者を受け入れています。</p>		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し <small>※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。</small>

A-5. 学生の受け入れ方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を踏まえ、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	人間福祉研究科委員会(議長: 人間福祉研究科委員長)
	検証手続き	研究科委員会において確認を行う。
	決定・判断時期	毎年2月
	検証エビデンス	人間福祉研究科委員会記録
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2018年7月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)
検証プロセス	検証方法	大学院諸問題検討委員会及び研究科委員会にて検証・確認
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。
	判断根拠	人間福祉研究科委員会記録、同後期課程指導教員委員会記録、人間福祉学部教授会記録
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	

2018 年度 自己点検・評価【人間福祉研究科】

A票

<理念、目的、教育研究目標、方針等> 設定・確認シート
 ～検証状況の確認～

提出日:2019年2月22日

責任者	人間福祉研究科委員長	作成部局	人間福祉研究科
-----	------------	------	---------

A-6

学生支援に関する方針		変更の有無
人間福祉研究科は作成しない。		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。
修学支援		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。
生活支援		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。
進路支援		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日:2019年2月22日

責任者	人間福祉研究科委員長	作成部局	人間福祉研究科
-----	------------	------	---------

A-6. 学生支援に関する方針について、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念・目的、入学者の傾向等の特性を踏まえた内容になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	<p>方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや体制を整備し、適切に運用しているか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(下記のことが明らかであることに留意する。)</p> <p><修学支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・留年者及び休・退学者の状況把握と対処 ・学生の能力に応じた補習・補充教育の実施 ・障がい学生に対する修学支援の実施 ・奨学金等の経済的支援の実施 <p><生活支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生相談室等、学生の相談に応じる体制の整備、学生への案内 ・各種ハラスメント防止に向けた取り組み </div>	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組んでいるか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(だれが)	
	検証手続き(どこで)	
	決定・判断時期(いつ)	
	検証エビデンス	
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。	<input type="checkbox"/> 1. 検証を行った(年 月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)	
検証プロセス	検証方法(どのように)	
	検証結果	<input type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。 <div style="margin-left: 20px;"> <input type="checkbox"/>既に見直した(→A票変更点記述シートを作成した。) <input type="checkbox"/>今後見直す予定である。(見直し計画:) <input type="checkbox"/>その他 () </div>
	判断根拠	
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他 ()	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
 ～検証状況の確認～

提出日:2019年2月22日

責任者	人間福祉研究科委員長	作成部局	人間福祉研究科
-----	------------	------	---------

A-7

教員像		変更の有無
1. 前期課程においては、「人」と「社会(環境)」とその相互作用に関わる多様な問題に対して、社会福祉学を基本とした人間福祉に関わる諸領域における学際的な視点に基づく問題解決のための高度な専門的知識や技法を教授すると共に、高いリサーチ能力を通して独創的な知見を生み出し社会に貢献するために必要となる能力の育成に真摯に取り組む姿勢を持つ。後期課程においては、加えて教育・研究者としての指導能力の育成にも取り組む姿勢を持つ。 2. 専門分野においては、自らの研究課題に向き合い、誠実に継続的に探究し、その成果を発信して社会に貢献できるような高い研究能力を持つ。 3. 組織の発展、継続のために、自らの持つ力を活用し、また他の多くの教職員と共に協働・連携して課題に取り組む姿勢を持つ。		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。
無しの場合どのように設定するか?	責任主体・組織	
	設定方法	
	設定見込み時期	
教員組織の編制方針		変更の有無
学際的な人間福祉研究科の特性に合わせて、学生のニーズに対応できる教育課程を保証できるよう、専門分野・教育研究業績・外国での学位取得状況に鑑み、人数・年齢構成・男女比・職位等を勘案の上、適切に教員を配置するための手続きを明確化、透明化する。		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。

A-7. 教員像、教員組織の編制方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	教員像は、教員に求める能力・資質、教育に対する姿勢等を明確にしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	教員組織の編制方針は、組織的な教育を実施する上において、必要な役割分担や規模(人数)、教員の専門分野やスキル構成、責任体制、を明確にしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	教員像・教員組織の編制方針は教職員で共有されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(だれが)	人間福祉研究科委員会、同後期課程指導教員委員会(議長:人間福祉研究科委員長)
	検証手続き(どこで)	学部教員採用時及び毎年4月の学部教授会において検証・確認する。
	決定・判断時期(いつ)	毎年4月
	検証エビデンス	人間福祉研究科委員会記録、同後期課程指導教員委員会記録、人間福祉学部教授会記録
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2018年7月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)	
検証プロセス	検証方法(どのように)	採用人事委員会、人事選考委員会において、上記方針を踏まえ、審査を行い、研究科委員会で確認。
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。
		<input type="checkbox"/> 既に見直した(→A票変更点記述シートを作成した。) <input type="checkbox"/> 今後見直す予定である。(見直し計画:) <input type="checkbox"/> その他()
	判断根拠	人間福祉研究科委員会記録、同後期課程指導教員委員会記録、人間福祉学部教授会記録
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日：2019 年 2 月 22 日

責任者	人間福祉研究科委員長	作成部局	人間福祉研究科
-----	------------	------	---------

(ご参考)

＜評価専門委員会・第三者評価結果＞ 2017 年 12 月 22 日公示

- ・ おおむね適切な自己評価がなされていると思われます。
- ・ 学部の理念と異なり、研究科の理念には「キリスト教主義教育」がうたわれていますが、学位授与方針、カリキュラム・ポリシーに反映させる必要はないでしょうか。
- ・ 教員編成方針には「専門分野・教育研究業績・外国での学位取得状況」とありますが、国内での学位取得は考慮されないのでしょうか。(A)
- ・ A-6 の「学生支援に関する方針」の記述がない理由は何故でしょうか。(D)
- ・ 適切な自己評価がなされている。(G)
- ・ 適切性の検証が実施されており、評価できます。(I)

＜評価専門委員・所見記入欄＞

- ・ しっかり取り組んでいるものと思います。教員編成方針に外国での学位取得のことがあります。それなら学生も留学させた方がよく、本学で博士学位を取得させる取り組みと矛盾しないでしょうか。(A)
- ・ A-6 の「学生支援に関する方針」について、「人間福祉研究科は作成しない。」との記述がされているが、自己評価制度の主旨からして、なぜ、記述しないかが第三者に分かるように説明する必要がある。(B)
- ・ 適切に自己点検されており、評価できます。(C)
- ・ 設定した体制、プロセスに基づいて検証がなされていると察しますが、昨年度の第三者評価コメントにもあるように、学部と研究科の理念における共通性は検証するポイントとして必要と思われます。(E)
- ・ 各方針において適切性の検証体制が明確になっていることが評価できます。(F)
- ・ 各種方針について適切に検証されています。(G)
- ・ 適切に検証されています。(H)